

2014年度第4四半期および通年の業績を発表

February 04, 2015

本資料は、米国アッヴィ社が2015年1月30日（米国時間）に発表したプレスリリースを日本語に翻訳し、2月5日、皆様のご参考に供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料（英文）については、www.abbvie.comをご覧ください。

- 2014年度通年の調整後EPSは、3.32ドル（5.7%増）（GAAPのEPSは1.10ドル）
- 第4四半期の調整後売上高は53.71億ドルで、前年同期比8.9%増（調整前で5.1%増）、GAAPの売上高は54.52億ドル
- 第4四半期の売上高の増加は、ヒュミラの全世界での調整後売上高の14.4%増（調整前で10.6%増）とその他の主力製品の力強い成長が牽引
- 第4四半期の調整後売上総利益率は410ベースポイント改善
- 第4四半期の調整後EPSは0.89ドル（8.5%増）（GAAPのEPSは0.51ドル）
- 米国、欧州、カナダでの承認を受け、インターフェロンを使用しないc型肝炎治療薬を新たに発売
- 前年比で業界随一の成長を反映した2015年度の調整後EPS見通しを確定

米国イリノイ州ノースシカゴ（2015年1月30日）－アッヴィ（NYSE：ABBV）は本日、2014年度第4四半期（～12月31日）および通年の業績を発表しました。

アッヴィの会長兼CEOのリチャード・A・ゴンザレスは、次のように述べています。「2014年アッヴィは、売上高においても収益においても、当初の予想をはるかに上回る素晴らしい業績を収めました。当社は予定よりも1年早く、2014年に成長軌道に転じました。そして2015年もこの勢いを継続し、優れた業績を収めることができると考えています。2015年、当社は長期的に持続可能な成長に向けて発展しつづけると共に、製品化および事業の推進と、有望なパイプライン開発の促進を重視していきます。」

第4四半期の業績

- 第4四半期における調整後の全世界での売上高は、5.1%増の53億7,100万ドルでした。調整後の営業ベースの売上高は、3.8%の為替レート変動によるマイナスの影響を除くと、8.9%増でした。米国の一般会計原則（GAAP）に基づく全世界での売上高は、調整前で6.7%増の54億5,200万ドル（調整後は10.4%増）でした。
- 第4四半期における売上高の増加は、主として、引き続き堅調なヒュミラの業績に牽引されました。ヒュミラの世界的な売上高は、為替レート変動の影響を除き、10.6%増（営業ベースで14.4%増）でした。総売上高の増加は、Synagis、Creon、Duodopaなどの主力製品の事業成長にも牽引されました。
- 第4四半期における調整後の売上総利益率は、無形資産の償却費およびその他の特定項目を除き、前年同期比410ベースポイント増の81.2%でした。GAAPに基づく売上総利益率は79.5%でした。
- 第4四半期の売上高に占める調整後販売費および一般管理費（SG&A）の割合は、c型肝炎治療薬の発売および成長ブランドに対する継続的投資を反映し、29.1%でした。売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、GAAPベースで61.3%でした [主にShire Plc（Shire）との提携解消に関連する特定項目を含む]。
- 第4四半期の売上高に占める調整後研究開発費（R&D）の割合は、中期および後期パイプラインとヒュミラの適応追加への投資を反映し、16.3%となりました。売上高に占める研究開発費の割合は、GAAPベースで16.1%でした。
- 純支払利子は調整ベースで6,300万ドル、GAAPベースで1億2,900万ドルでした。第4四半期における調整後の税率は22.5%、GAAPベースで21.9%でした。
- 第4四半期における希薄化後1株当たり利益（損失）は、GAAPベースで（0.51ドル）でした。調整後及び希薄化後1株当たり利益は、無形資産の償却費および主にShireとの提携解消に関連するその他の特定項目を除き、0.89ドルでした。Shireとの提携解消の影響は、解約金（0.66ドル）、特定外貨ポジションの時価評価および売却（0.24ドル）、ならびにその他費用（0.10ドル）でした。残りの外貨ポジションの精算完了を反映し、さらなるShire特定費用（0.08ドル）が、2015年度第1四半期に計上される予定です。2015年度のGAAP見通しはそれに伴い調整されました。

第4四半期の主な出来事

- 12月19日、米国食品医薬品局（FDA）は、リバビリン（RBV）併用/非併用下で、ジェノタイプ1型（GT1）c型肝炎ウイルス（HCV）に慢性感染している患者さん（代償性肝硬変の患者さんを含む）の治療薬として、インターフェロンを使用しない経口薬であるVIEKIRA PAKを承認しました。VIEKIRA PAKの承認は、25カ国2,300人以上の患者さんを対象とし、安全性と有効性を検証した堅固な臨床開発プログラムの結果によって裏付けられています。本プログラムは6つのピボタル第Ⅲ相試験から構成され、VIEKIRA PAKにより、未治療/既治療ジェノタイプ1a型および1b型のc型肝炎患者さんおよび代償性肝硬変の患者さんの95～100%が治癒し、2%未満のウイルス学的失敗例が示されました。また、臨床試験に参加した98%を超える患者さんが全治療過程を終えました。
- 1月16日、VIEKIRAX（ombitasvir/paritaprevir/ritonavir錠）+EXVIERA（dasabuvir錠）によるインターフェロンを使用しない経口薬のみの短期療法について、欧州委員会の販売承認を取得したことを発表しました。この治療法は、RBV併用/非併用下で、GT1のHCVに慢性的に感染している患者さん（代償性肝硬変の患者さん、HIV-1に共感染している患者さん、オピオイド置換治療を受けている患者さんおよび肝臓移植を受けている患者さん）

含む)の治療薬として承認されました。またVIEKIRAXは、RBV併用下でジェノタイプ4型のHCVに慢性的に感染している患者さんの治療薬としても承認されています。

- 1月12日、米国食品医薬品局 (FDA) が進行期パーキンソン病の患者さんにおける運動機能の日内変動に対する治療薬としてDUOPA (カルビドパ/レボドパ) 配合腸注剤を承認したことを発表しました。DUOPAは小型の携帯型注入ポンプを用い、外科的に留置したチューブを通して、カルビドパおよびレボドパを直接小腸に16時間持続投与します。臨床試験において、経口カルビドパ/レボドパ速放錠を投与された患者さんと比較して、DUOPAを投与された患者さんでは、「オフ」時間 (可動性の低下、緩慢さ、こわばりが見られる期間) が有意に改善されました。
- アツヴィおよびNeurocrine Biosciences社は、子宮内膜症を患う閉経前の女性に対するelagolixの安全性と有効性を評価する現在進行中の2つの第III相試験のうちの1つで肯定的な結果が得られたことを発表しました。この試験の結果から、6カ月の治療の後、elagolixの2種類の用量 (150 mgを1日1回投与または200 mgを1日2回投与) において、子宮内膜症に関連した非月経時骨盤痛 (NMPP) および月経痛 (または月経困難症) について子宮内膜症痛の日次評価スケールで測定したところ、3カ月目および6カ月目においてスコアが減少するという本試験の共主要評価項目を満たした ($p < 0.001$) ことが明らかとなっています。Elagolixは現在、子宮内膜症の痛みを患う患者さんにおいて研究が進められており、脳下垂体における性腺刺激ホルモン放出ホルモン (GnRH) の受容体を阻害し、最終的に体内に循環する性ホルモンレベルを減少させます。これまでelagolixは40以上の臨床試験において合計3,000人を超える患者さんを対象に研究されてきました。子宮筋腫の治療におけるelagolixの第III相試験も現在進行中です。
- 第56回米国血液学会議において、急性骨髄性白血病 (AML) の患者さんに対する被験化合物のvenetoclax (ABT-199/GDC-0199) に関する第II相試験から得られた新たな結果を発表しました。AMLは悪性度および致死率の高い血液のがんであり、体内において特定の白血球 (骨髄芽球) が大量に生産され、健康な血球が締め出されてしまいます。今回の試験において、venetoclaxを使用したグループでは、全体的な奏効率は15.5%であり、1人の患者さんが完全寛解を、4人の患者さんが血球の不完全回復を伴う完全寛解を達成しました。これらのデータから、AML患者さんにおけるvenetoclaxのさらなる研究の必要性が裏付けされたことが示されています。Venetoclaxは、AMLの一部の患者さんを治療する際に用いられる他の医薬品との併用についても研究が進められる予定です。VenetoclaxはB細胞リンパ腫2 (BCL-2) タンパク質の被験阻害剤であり、現在、CLLおよびその他の様々ながんの治療を対象とした第III相臨床試験において評価されています。

2015年度通年の見通しの想定

アツヴィは、2015年度通年の希薄化後1株当たり利益の見通しを、前年比で業界随一の成長を反映し、調整ベースで4.25ドル~4.45ドルの範囲と想定しています。2015年度の調整希薄化後1株当たり利益の見通しには、1株当たり0.34ドルの無形資産の償却費およびその他の特定項目は含まれていません。これらの項目を含めた、アツヴィのGAAPベースの調整希薄化後1株当たり利益は3.91ドル~4.11ドルです。

アツヴィについて

アツヴィは、アボットラボラトリーズからの分社を経て2013年に設立された研究開発型のグローバルなバイオ医薬品企業です。弊社のミッションは、専門知識、献身的な社員、独自の革新的アプローチを通じて、世界で最も複雑かつ深刻な疾患に対する先進的な治療薬を開発し、提供することです。アツヴィは、世界で約26,000人を雇用し、170カ国以上で医薬品を販売しています。当社の概要、ならびに当社の人材、ポートフォリオ、コミットメントの詳細については、www.abbvie.comをご覧ください。またTwitterにて@abbvieをフォローし、FacebookページまたはLinkedInのキャリアページをご参照ください。

Conference Call

アツヴィの主催により、本日午前8:00 (中部時間) に投資家のみなさまを対象とした電話会議を開催いたします。会議では第4四半期の業績について議論します。会議の参加者はRick Gonzalez (Chairman/CEO)、Bill Chase (executive vice president/CFO)、Laura Schumacher (executive vice president/business development, external affairs and general counsel)、Mike Severino (executive vice president/research and development/chief scientific officer) 及びLarry Peepo (vice president/investor relations) です。電話会議はアツヴィウェブサイト (www.abbvieinvestor.com) 上でインターネット配信されます。

非GAAPの業績

2013年度および2014年度の業績に関して、調整前 (GAAP) および調整後 (非GAAP) の両方で提示しています。調整前の業績はGAAPに従って作成したもので、同期間に計上されたすべての売上高と費用を含んでいます。非GAAPの業績は、特定の非現金項目と予測不能な臨時的要因について調整を行ったもので、それらの費用、支出およびその他の特定項目 (以下に掲載する調整表に記載) を除外しています。アツヴィの経営陣は、非GAAPの財務指標はアツヴィの業績に関する有用な情報を投資家に提供し、経営陣、アナリストおよび投資家が業績を評価する際に役立つと考えています。非GAAPの財務指標はGAAPに従って作成される財務指標を補足するものであり、これに代わるものではありません。また、当社の2015年度財務見通しに関しても、調整前と非GAAPベースの両方で提示しています。

今後の見通しに関する陳述

本リリースにおける記載には、Private Securities Litigation Reform Act of 1995（1995年米国私証券訴訟改革法）に示される「今後の見通しに関する陳述」が含まれています。「確信」「期待」「予測」「計画」という言葉およびそれに類する表現は、一般に将来予想に関する陳述となります。当社からの注意喚起として、このような将来予想に関する陳述はリスクおよび不確実性による影響を受け、実際の結果と将来予想に関する陳述での予測との間に大幅な相違が生じる可能性があります。このようなリスクおよび不確実性には、知的財産に対する脅威、他社製品との競合、研究および開発プロセスに特有の困難、敵対的訴訟または政府による介入、業界に関連する法律および規制の変更などがあります。アッヴィの経営に影響を及ぼす可能性のある経済、競合状況、政府、科学技術およびその他の要因については、Securities and Exchange Commission（米国証券取引委員会）に提出済みのアッヴィの2013年度アニュアルレポート（10-K書式）の1A項「リスク要因」およびアッヴィの2014年度第2四半期レポート（10-Q書式）Part 2の1A項「リスク要因」に記載しています。アッヴィは、法律で要求される場合を除き、本リリースの発表後に発生した出来事または変化によって、今後の見通しに関する陳述を更新する義務を負わないものとします。

Media:	Investors:
Jennifer Smoter	Larry Peepo
(847) 935-8865	(847) 935-6722
Adelle Infante	Liz Shea
(847) 938-8745	(847) 935-2211

アッヴィ

主要製品の売上高

第4四半期（2014年12月31日終了）

（未監査）

	売上高（単位：100万米ドル）			前年同期比				
	米国	米国外	合計	米国外			合計	
				調整後	調整前	調整後	調整前	
売上高合計	\$3,083	\$2,288	\$5,371	9.4%	8.2%	(0.2%)	8.9%	5.1%
Humira	1,932	1,431	3,363	15.8	12.7	4.3	14.4	10.6
Synagis	--	298	298	n/a	4.9	(5.0)	4.9	(5.0)
AndroGel	230	--	230	(20.2)	n/a	n/a	(20.2)	(20.2)
Lupron	160	47	207	2.5	(4.6)	(11.4)	0.6	(1.1)
Kaletra	50	153	203	(20.5)	2.3	(7.5)	(4.0)	(11.1)
Synthroid	186	--	186	(1.6)	n/a	n/a	(1.6)	(1.6)
Creon	151	--	151	30.6	n/a	n/a	30.6	30.6
Sevoflurane	22	98	120	(4.6)	(18.7)	(25.8)	(16.7)	(22.7)
Dyslipidemia	104	--	104	13.6	n/a	n/a	13.6	13.6
Duodopa	--	56	56	n/a	25.4	14.7	25.4	14.7
Viekira	48	--	48	n/m	n/a	n/a	n/m	n/m

注：「調整後」の数値には、為替変動の影響を排除した前年同期比の変化率が反映されています。Dyslipidemiaには、TriCor/Trilipix、Niaspan、Simcor、Advicorの売上が含まれています。

n/a = 該当なし

n/m = 無意味

アッヴィ

主要製品の売上高

12カ月通算（2014年12月31日終了）

（未監査）

	売上高（単位：100万米ドル）			前年比				
	米国	米国外	合計	米国外			合計	
				調整後	調整前	調整後	調整前	
売上高合計	\$10,764	\$9,115	\$19,879	5.7%	8.9%	5.9%	7.1%	5.8%
Humira	6,524	6,019	12,543	24.6	13.3	11.0	18.9	17.7
AndroGel	934	--	934	(9.7)	n/a	n/a	(9.7)	(9.7)
Kaletra	213	657	870	(12.7)	(4.5)	(8.5)	(6.6)	(9.6)
Synagis	--	835	835	n/a	9.3	1.0	9.3	1.0
Lupron	580	198	778	2.5	(5.4)	(9.5)	0.2	(0.9)
Synthroid	709	--	709	13.9	n/a	n/a	13.9	13.9
Sevoflurane	83	467	550	7.1	(1.0)	(4.7)	0.1	(3.1)
Creon	516	--	516	25.3	n/a	n/a	25.3	25.3
Dyslipidemia	328	--	328	(69.5)	n/a	n/a	(69.5)	(69.5)
Duodopa	--	220	220	n/a	24.7	23.5	24.7	23.5
Viekira	48	--	48	n/m	n/a	n/a	n/m	n/m

注：「調整後」の数値には、為替変動の影響を排除した前年同期比の変化率が反映されています。Dyslipidemiaには、TriCor/Trilipix、Niaspan、Simcor、Advicorの売上が含まれています。

n/a = 該当なし

n/m = 無意味

アツヴィ

連結損益計算書（損失）

四半期ならびに12カ月通算（2013年および2014年12月31日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

	第4四半期 (12月31日終了)		12カ月通算 (12月31日終了)		
	2014	2013	2014	2013	
純売上高	\$5,452	\$5,111	\$19,960	\$18,790	
売上原価	1,119	1,282	4,426	4,581	
販売費および一般管理費	3,341	1,448	7,724	5,352	
研究開発費	879	798	3,297	2,855	
外部調達による仕掛研究開発費	28	48	352	338	
その他営業経費	500	--	750	--	
営業経費合計	5,867	3,576	16,549	13,126	
営業利益（損失）	(415)	1,535	3,411	5,664	
支払利子（正味）	129	68	391	278	
正味為替差損	496	15	678	55	
その他（利益）費用（正味）	(3)	13	(27)	(1)	
法人税控除前利益（損失）	(1,037)	1,439	2,369	5,332	
法人税等	(227)	311	595	1,204	
純利益（損失）	(\$810)	\$1,128	\$1,774	\$4,128	
希薄化後1株当たり利益（損失）	(\$0.51)	\$0.70	\$1.10	\$2.56	
希薄化後1株当たり利益（特定項目を除く）	\$0.89	\$0.82	\$3.32	\$3.14	a)
平均希薄化後発行済株式数	1,597	1,608	1,610	1,604	

a) 詳細は、「GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報」を参照のこと。

アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

第4四半期（2014年12月31日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2014年度第4四半期		
	純利益（損失）		希薄化後EPS
	税引前	税引後	
調整前（GAAP）	(\$1,037)	(\$810)	(\$0.51)
特定項目を調整：			
その他収益	(81)	(81)	(0.05)
無形固定資産の償却	96	69	0.04
外部調達による仕掛研究開発費	28	29	0.02
Calico社との提携費用	500	500	0.31
Shire社取引費用	2,227	1,623	1.00
分社化費等	134	116	0.08
調整後（非GAAP）	\$1,867	\$1,446	\$0.89

その他収益は、主にライセンス契約の合意の結果として、2014年度第4四半期において計上された前期のロイヤルティ収入です。無形固定資産の償却は、ライセンス活動および買収活動の結果として計上した費用を反映しています。外部調達による仕掛研究開発費は、主に第三者とのライセンス契約に関連する前払い金を反映しています。Calico社との提携費用は、過去に発表したCalico社との提携に関連する支払いを反映しています。Shire社取引費用は、終了したShire社との取引に関連するものです。分社化費用等とは、主にアッヴィのAbbott社からの分社化に関連するものです。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2014年度第4四半期							
	純売上高	売上原価	販売費および一般管理費	研究開発費	外部調達による仕掛研究開発費	その他営業経費	支払利子（利益）	純為替差損益
調整前（GAAP）	\$5,452	\$1,119	\$3,341	\$879	\$28	\$500	\$129	\$496
特定項目を調整：								
その他収益	(81)	--	--	--	--	--	--	--
無形固定資産の償却	--	(96)	--	--	--	--	--	--
外部調達による仕掛研究開発費	--	--	--	--	(28)	--	--	--
Calico社との提携費用	--	--	--	--	--	(500)	--	--
Shire社取引費用	--	--	(1,660)	--	--	--	(66)	(501)
分社化費等	--	(15)	(117)	(2)	--	--	--	--
調整後（非GAAP）	\$5,371	\$1,008	\$1,564	\$877	--	--	\$63	(\$5)

3. 以下に詳細を示すとおり、2014年度第4四半期の調整後税率は22.5%でした。

	2014年度第4四半期		
	法人税 控除前 (損失)	法人税	税率
調整前 (GAAP)	(\$1,037)	(\$227)	21.9%
特定項目	2,904	648	22.3%
調整後 (非GAAP)	\$1,867	\$421	22.5%

アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

第4四半期（2013年12月31日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2013年度第4四半期		
	純利益		希薄化後EPS
	税引前	税引後	
調整前（GAAP）	\$1,439	\$1,128	\$0.70
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	101	76	0.05
分社化費用	103	66	0.04
外部調達による仕掛研究開発費	48	48	0.03
事業再編/その他	11	7	0.00
調整後（非GAAP）	\$1,702	\$1,325	\$0.82

無形固定資産の償却は、ライセンス活動および買収活動の結果として計上した費用を反映しています。分社化費用とは、アッヴィのAbbott社からの分社化に関連するものです。外部調達による仕掛研究開発費は、過去に発表した提携に関連する前払い金を反映しています。事業再編/その他は、主に過去に発表した再編活動に関連するものです。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2013年度第4四半期				
	売上原価	販売費および一般管理費	研究開発費	外部調達による仕掛研究開発費	その他利益（正味）
調整前（GAAP）	\$1,282	\$1,448	\$798	\$48	\$13
特定項目を調整：					
無形固定資産の償却	(101)	--	--	--	--
分社化費用	(5)	(95)	(3)	--	--
外部調達による仕掛研究開発費	--	--	--	(48)	--
事業再編/その他	(8)	--	--	--	(3)
調整後（非GAAP）	\$1,168	\$1,353	\$795	--	\$10

3. 以下に詳細を示すとおり、2013年度第4四半期の調整後税率は22.2%でした。

	2013年度第4四半期		
	法人税 控除前	法人税	税率
調整前（GAAP）	\$1,439	\$311	21.6%
特定項目	263	66	25.1%
調整後（非GAAP）	\$1,702	\$377	22.2%

アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

12カ月通算（2014年12月31日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2014年12カ月通算		
	純利益		希薄化後EPS
	税引前	税引後	
調整前（GAAP）	\$2,369	\$1,774	\$1.10
特定項目を調整：			
その他収益	(81)	(81)	(0.05)
無形固定資産の償却	403	287	0.18
研究開発費	40	40	0.02
外部調達による仕掛研究開発費	352	251	0.15
Calico社との提携費用	750	750	0.46
Shire社取引費用	2,510	1,802	1.12
分社化費用	445	385	0.24
その他	136	167	0.10
調整後（非GAAP）	\$6,924	\$5,375	\$3.32

その他収益は、主にライセンス契約の合意の結果として、2014年度第4四半期において計上された前期のロイヤルティ収入です。無形固定資産の償却は、ライセンス活動および買収活動の結果として計上した費用を反映しています。研究開発費は、過去に発表した提携に対する支払いに関連しています。外部調達による仕掛研究開発費とは、過去に発表した提携に関連する前払い金を反映しています。Calico社との提携費用は、過去に発表したCalico社との提携に関連する支払いを反映しています。Shire社取引費用は、終了したShire社との取引に関連するものです。分社化費用とは、アッヴィのAbbott社からの分社化に関連するものです。その他は、主に新たなIRS規制によって定められた追加1年分のブランド医薬品の処方料の計上に関連しています。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2014年12カ月通算								
	純売上高	売上原価	販売費および一般管理費	研究開発費	外部調達による仕掛研究開発費	その他営業経費	支払利子（利益）	純為替差損益	その他利益（正味）
調整前（GAAP）	\$19,960	\$4,426	\$7,724	\$3,297	\$352	\$750	\$391	\$678	(\$27)
特定項目を調整：									
その他収益	(81)	--	--	--	--	--	--	--	--
無形固定資産の償却	--	(403)	--	--	--	--	--	--	--
研究開発費	--	--	--	(40)	--	--	--	--	--
外部調達による仕掛研究開発費	--	--	--	--	(352)	--	--	--	--
Calico社との提携費用	--	--	--	--	--	(750)	--	--	--
Shire社取引費用	--	--	(1,703)	--	--	--	(141)	(666)	--
分社化費用	--	(18)	(422)	(5)	--	--	--	--	--
その他	--	(58)	(112)	--	--	--	--	--	34
調整後（非GAAP）	\$19,879	\$3,947	\$5,487	\$3,252	--	--	\$250	\$12	\$7

3. 以下に詳細を示すとおり、2014年度通年の調整後税率は22.4%でした。

	2014年12カ月通算		
	法人税 控除前	法人税	税率
調整前 (GAAP)	\$2,369	\$595	25.1%
特定項目	4,555	954	20.9%
調整後 (非GAAP)	\$6,924	\$1,549	22.4%

アッヴィ

GAAP調整前から非GAAP調整後への調整に関する情報

12カ月通算（2013年12月31日終了）

（未監査、1株当たりのデータ以外は100万米ドル単位）

1. 業績に影響した特定項目を以下に示します。

	2013年12カ月通算		
	純利益		希薄化後EPS
	税引前	税引後	
調整前（GAAP）	\$5,332	\$4,128	\$2.56
特定項目を調整：			
無形固定資産の償却	509	370	0.23
分社化費用	255	163	0.10
外部調達による仕掛研究開発費	338	338	0.21
事業再編／その他	81	67	0.04
調整後（非GAAP）	\$6,515	\$5,066	\$3.14

無形固定資産の償却は、ライセンス活動および買収活動の結果として計上した費用を反映しています。分社化費用とは、アッヴィのAbbott社からの分社化に関連するものです。外部調達による仕掛研究開発費とは、過去に発表した提携に関連する前払い金を反映しています。事業再編／その他は、主に過去に発表した再編活動に関連するものです。

2. 各特定項目の影響を以下に示します。

	2013年12カ月通算					
	売上原価	販売費および一般管理費	研究開発費	外部調達による仕掛研究開発費	純為替差損益	その他利益（正味）
調整前（GAAP）	\$4,581	\$5,352	\$2,855	\$338	\$55	(\$1)
特定項目を調整：						
無形固定資産の償却	(509)	--	--	--	--	--
分社化費用	(16)	(230)	(9)	--	--	--
外部調達による仕掛研究開発費	--	--	--	(338)	--	--
事業再編/その他	(5)	(38)	(15)	--	(11)	(12)
調整後（非GAAP）	\$4,051	\$5,084	\$2,831	--	44	(\$13)

3. 以下に詳細を示すとおり、2013年度通年の調整後税率は22.2%でした。

	2013年12カ月通算		
	法人税 控除前	法人税	税率
調整前（GAAP）	\$5,332	\$1,204	22.6%
特定項目	1,183	245	20.7%
調整後（非GAAP）	\$6,515	\$1,449	22.2%